



## ベトナム北部の物流不動産事業に参画

～ VSIP ハイフォン複合都市・工業団地において物流倉庫の開発・運営に参画します ～

阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区）は、シンガポールの Sembcorp Development Ltd（※。以下、セムコープ デベロップメント社）と株式会社シーアールイー（本社：東京都港区）が共同で出資している Sembcorp Infra Services Pte Ltd（以下、セムコープ インフラ サービス社）に対して、7月1日に出資し、セムコープ インフラ サービス社が2018年からベトナム北部の VSIP ハイフォン複合都市・工業団地で推進している物流倉庫の開発・運営に参画することとしましたので、お知らせします。

なお、セムコープ デベロップメント社は、アジアにおける工業団地開発の分野で30年にわたる経験を有しており、株式会社シーアールイーは、物流不動産の管理運営会社で、長年の管理運営を通じて日系テナントと幅広いネットワークを構築しています。

※ 同社は、シンガポール政府が所有する国際的な投資会社「Temasek Holdings（テマセクホールディングス）」の傘下の会社で、同ホールディングスは金融・通信・メディア・テクノロジー・交通・運輸・不動産・エネルギー・資源など多岐にわたる事業に投資しています。



稼働中の物流倉庫（左から第1期・第2期）



4月に新たに竣工した物流倉庫（第3期）

近年、ベトナムの物流不動産市場は、eコマースの拡大等を背景に大きな成長を続けており、今後も更なる発展が期待されています。また、本物流倉庫の位置するハイフォン市は、ベトナム北部最大の港湾都市であり、港や高速道路が整備された貿易・物流の拠点として注目されています。

中でも、ベトナム・シンガポール両政府の支援の下で開発が進められている VSIP ハイフォン複合都市・工業団地は、設備等のハード面が充実していることに加え、質の高いカスタマーサービスを提供しており、高く評価されています。

当社は、これまで海外ではインドネシア及びシンガポールにおいて物流不動産事業を展開していますが、本事業への参画を通じて、アセアン地域でのリーディング力をさらに強化するとともに、ベトナムでの開発ノウハウを蓄積し、物流不動産事業の推進と拡大に努めてまいります。

## ◆位置図



©OpenStreetMap contributors(opendatacommons.org)(一部加工)

## ◆阪急阪神不動産株式会社の概要

- 【会社名】 阪急阪神不動産株式会社
- 【所在地】 大阪市北区芝田1丁目1番4号 阪急ターミナルビル内
- 【代表者】 諸富 隆一
- 【資本金】 124億円
- 【売上高】 1,165億300万円 (2020年3月期)
- 【事業内容】 オフィス・商業施設の賃貸、不動産開発、エリアマネジメント、不動産ファンド、マンション・戸建住宅・宅地の分譲、仲介、リフォーム、賃貸管理、土地活用など
- 【従業員数】 約860名 (2020年4月1日現在)

## ◆Sembcorp Development Ltdの概要

- 【会社名】 Sembcorp Development Pte. Ltd.
- 【所在地】 30 Hill Street #03-01 Singapore 179360
- 【代表者】 Teo Ban Seng
- 【資本金】 3億1,947万SGドル (約255億5,720万円)
- 【事業内容】 都市開発
- 【従業員数】 59名 (2020年3月31日現在)

#### ◆株式会社シーアールイーの概要

---

- 【会社名】 株式会社シーアールイー
- 【所在地】 東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング東棟19階
- 【代表者】 亀山忠秀
- 【資本金】 21億9,571万円
- 【売上高】 239億4,198万円（2019年7月期）
- 【事業内容】 物流施設の賃貸、管理、開発、仲介、投資助言
- 【従業員数】 218名（2019年7月31日現在）

（注）「売上高」・「従業員数」は、いずれも連結ベースのものです。

#### ◆Sembcorp Infra Services Pte Ltdの概要

---

- 【会社名】 Sembcorp Infra Services Pte Ltd
- 【所在地】 30 Hill Street #03-01 Singapore 179360
- 【代表者】 Ang Kim Hong Yvonne、Teo Ban Seng
- 【資本金】 1,682万USドル（約18億5,020万円）
- 【事業内容】 物流不動産事業への投資

#### ◆阪急阪神不動産の海外事業展開

---

当社では、「阪急阪神ホールディングスグループ 長期ビジョン2025」に掲げているスローガン「深める沿線 広げるフィールド」のもと、アセアンにおいて不動産事業の規模拡大を目指しており、これまでにシンガポール・タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・マレーシアの6か国で不動産事業を展開しています。

##### 1 住宅分譲事業

2015年にベトナムのホーチミン市でマンション分譲事業を開始し、これまでにタイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・マレーシアの5か国で28プロジェクト（3万戸超）を展開しています。

##### 2 物流不動産事業

2015年にインドネシアのジャカルタ近郊のMM2100工業団地で、2017年にシンガポール西部のジャランブロー地区で、それぞれ物流倉庫を開発し、同倉庫の運営等を行っています。

##### 3 複合施設等の開発・賃貸事業

インドネシアのジャカルタ市内の中心地にある、同国を代表する商業・オフィス・ホテルからなる複合施設「プラザインドネシアコンプレックス」と、JKT48 劇場や映画館等が入居する商業施設「fX スティルマン」を保有・運営・管理する現地事業体に出資し、事業運営にも携わっています。

以 上